

理想MHDシミュレーション

大阪大学 理学研究科 氏名 滝沢 龍之介

目的 実験結果とシミュレーション結果との比較をするために、大型計算機が必要なため利用する

内容 金属平板に高強度レーザーを照射し、膨張するプラズマをシミュレーション計算する。用いるコードはFLASHと呼ばれる理想MHDシミュレーションコードである。これによって得られたパラメーターとモデルを組み合わせ、物理現象の解明に努めている

結果 現在検証段階ではあるが、計算結果を論文に掲載する予定

利用した計算機	VCC, OCTOPUS
ノード時間	400時間
使用メモリ	100GB
ベクトル化率	0%
並列化	1並列